



きんぼし
東大阪

グラス・ファイバー工研 株式会社

〒578-0901

東大阪市加納 4-8-47

TEL 072-963-1923

FAX 072-963-1925

https://www.glaken.co.jp

E-Mail : jo@glaken.co.jp



代表取締役
板倉 正巳

★創業
1963年(昭和38年)

★資本金
2,400万円

★従業員
6人

★主要営業品目
グラスファイバー強化ラインテープ、テニスコート用・駐車場用ラインテープ

★トップシェア製品
テニスコート用ラインテープ

グラスファイバーを活用 ラインテープの分野でトップシェア

グラス・ファイバー工研(株)はテニスコートをはじめ、陸上競技場やゲートボール場などグラウンドで使用するラインテープの分野でトップシェアを誇っている。

創業は1963年で、棒高跳びのグラスファイバー(ガラス繊維)ポールの国産化を企画したのが始まり。その後、同製品の材質であるFRP(グラスファイバーとポリエステル樹脂等で出来た強化プラスチック)をパイプ状、ロープ状、平に加工することで様々な商品を開発。北海道洞爺湖サミット(2008年)では、テロ防止用アンテナの支柱に同社のポールが採用された。

同社は、グラスファイバーを軟質塩ビなどで被覆する技術を得意とし、外形0.9mmから7mmのワイヤーロープ、幅10mmから100mmのテープを製造。芯材や被覆の種類を自由に変えられ、強度、伸度も条件に合わせて対応できる。この技術を有する企業は数少なく、全国からモノづくりの相談が寄せられている。

主力製品となっている「テニスコート用ラインテープ」は、引張強度が高く、伸び率が低い。さらには、錆びないといった特徴があり、長期間の屋外使用に適しており、(公財)日本テニス協会から唯一推薦を受け公式のテニスコートに使用されている。

同製品を応用し、さらに強度を高め、丈夫にしたのが駐車場用ラインテープ「ブーブーライン」。老朽化のため塗装の剥げやすいアスファルトや簡易なロープを引くことしか出来なかった芝生や砂利路面にも対応。現状のまま、専用の釘で簡単に設置出来る点が支持され、年間10,000台もの駐車場に使用されている。

今後も同社製品を多くの方に認識してもらえるよう、更なる品質向上や施工効率の向上を含めた研究を重ね、ユーザーに喜ばれる優れた製品を作り続けていく。



テニスコートや
競技コートで採用多数 日本テニス協会が認めた、優れた品質。

